

探究通信 “All Different, All Wonderful”

～みんなちがって、みんないい～

【発行日】

令和4年5月12日

【発行者】

進路・探究部

～第1回新書シャワー～

新書シャワーとは、新書（各専門分野の入門書）を「シャワーを浴びるように」流し読みしていき、様々な分野に触れることを通して探究活動に必要な興味・関心を広げ、自分の興味のある分野を自覚するきっかけとする取り組みです。

第1回新書シャワーでは、下の8つの学問分野の新書を2週にわたり、全員が新書を「浴びて」、今まで気づけなかった「見えない興味・関心」の発掘を目的として取り組みました。班ごとに1分野8分の時間の中で、複数の新書を浴びて、次の分野の新書へというサイクルを通して計4分野の新書に触れました。生徒の皆さんは、時間の許す限り興味・関心のある内容を探して、ワークシートに目一杯書き込んでいました。

ABC組	① 人文学	② 社会学	③ 国際学
	④ 生活科学・医療・保健・スポーツ		
DEFG組	⑤ 理学	⑥ 農学	※5/2は分野が逆になります
	⑦ 工学	⑧ 情報学	

～生徒の振り返り～

・様々な分野の本にたくさん触れました。特に、今日読んだ中で人文科学と社会学の概念が新しくて、おもしろかったです。目次のところを読んだだけでも、多様な考え方や自分の経験と程遠い事柄を見つけることができ、もっと深く知りたいと思いました。また、現文で習った言語論を、ヒトの行動や学びについて結びつけて考えることができると考えました。

・ある程度の興味のあるような分野や分野ごとの研究・テーマの方向性を探ることができた。一つ意外だったことといえば、農学や工学の部分などでも、倫理や哲学等の学問が密接にかかわっていることだった。また、事実のみを列挙したような本はほとんどなく、現在の課題点や問題点を述べたうえで筆者なりの解決策等が書いてあった。勉強になり、客観的な視点を含んだ探究になっていくことが期待されるので、今後の探究では様々な人の考えに触れていく。



・自分は、人間に関することや、文学、国際的なことに興味があることが分かった。生き物の死や、生き方にはずっと興味があって、調べてみたいと思っていたので、今日本が読めてよかった。また、文学の歴史を知ること、その作品の魅力をさらに味わうことができるし、自分のこれからの生き方についても考えることができるようになると思った。また、国際的な観点は、現代を生きていくうえで知っておいたほうがいいと感じた。多角的に物事を考えられる人になれると思った。



担当より

読んでみて初めて知ることの方が多いと思います。読まず嫌いをせず、まずは、一歩足を踏み入れてみましょう。そこから生まれる何かがあるはず！

成田

～第2回新書シャワー～ (5月2日実施)

～生徒の振り返り～

・理学の『新・天文学入門』という本の『私たちはどこから来たのだろう』という見出しの文章が特に印象に残っています。今までテレビなどで宇宙に関する番組をよく見てきて、人間や生命、地球のルーツはどんなものなのか、どんな奇跡の上私たちは存在しているのかなどにとっても興味があったので、宇宙に関する本で気になるものを何冊か読んでみたいと思った。また、最新の研究結果などについてもテレビ番組などを通して追っていき、さらに興味を深めていきたい。



・小見出しなどに読者の興味を引くような表現や単語が使われていることに気付いた。自分は、理系寄りなので理学の分野が一番面白く感じるのかなと予想していたが、実際に読んでみると、あまり興味を惹かれなかったり、前に読んだ人文科学のほうが面白かったと感じたりと、実際にやってみないと分からないことが発見できた。今回は、農学が一番興味を惹かれ、新植物を作り出すでは、自分は薬剤師を目指しているので、今ある植物を利用するという発想はあっても、植物を作り出す発想はなかったので、新鮮な気持ちになった。

・国際の分野についての本で「日本人は自国を特別だと思いがち」と書いてあり、共感した。確かに私は日本のことをほかの国にはない文化を持った素晴らしい国というのを思っている節があることに気が付いた。けれど、ほかの国にはない文化を持っている国は日本だけではないと思った。知っている範囲が狭いだけで起きたこのようなことはほかのことでも起きると言えるのではないかなと思う。それこそ新書シャワーもその一つだと思う



担当より

この度、竹早高校の図書室に『新書シャワー』コーナーが開設されました。

わかりやすく8分野に分類された様々な新書が数多く置かれています。改めてしっかりと読みたい人、自分の「見えない興味・関心」を発掘したい人、この機会を活用して多くの本・知識に触れていきましょう！皆さん、まずは一度図書室の『新書シャワー』コーナーへ！

成田

